

## ビルマ（ミャンマー）のザーガナーさん、スースーヌウェさん、ゾーテッココーさんが釈放されました！



ザーガナーさん



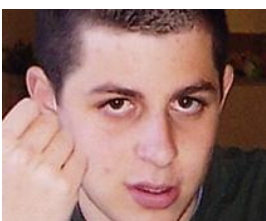
スースーヌウェさん

10月12日にビルマ（ミャンマー）で、6,359人の服役囚が恩赦により釈放されました。そのうち237人は政治囚であるとみられ、良心の囚人であるザーガナーさん、スースーヌウェさん、ゾーテッココーさんも含まれています。

ザーガナーさん、スースーヌウェさん、ゾーテッココーさんたちの釈放を求めて尽力して下さった皆さん、ありがとうございました。ゾーテッココーさんの父親からは、「皆さんの優しさと共感、絶え間ない支援に感謝します」というメッセージが寄せられています。

## イスラエルのギラド・シャリートさんと、リナン・アブ・グルマーさんが釈放されました！

10月18日、イスラエル刑務所管理局は、イスラエル兵士のギラド・シャリートさんとの捕虜交換のため、477人のパレスチナ人（男性450人、女性27人）を釈放しました。ハマスとイスラエル間のこの「捕虜交換」協定に従い、第2グループのパレスチナ人550人の釈放は、2か月後に行われる予定です。



ギラド・シャリートさん

10月18日のギラドさんの釈放を受け、アムネスティはアムネスティのメンバーからの手紙が全てギラドさんやその家族へ

届けられたどうかを確認する予定です。また、書簡を送ってギラドさんの釈放を歓迎するとともに、世界中のアムネスティがこの5年間、ギラドさんの釈放を求めて続けてきた活動を知らせ、この6月から20,554名が釈放を求めて署名したことを伝える予定です。

現在はギラドさんからのメッセージを伝えることができませんが、いずれギラドさんと連絡を取り、皆さんに詳細をお伝えしたいと考えています。

この件に関しては新たなアクションは必要なくなりました。皆さんの長年のご尽力に感謝いたします。



リナン・アブ・グルマーさん

10月18日、イスラエルの兵士、ギラド・シャリートさんのイスラエル返還に伴い、リナン・アブ・グルマーさんが交換された捕虜の1人として釈放されました。

アムネスティのイスラエル・チームは帰還したその日にリナンさんと自宅で面会しました。リナンさんはとても元気で、アムネスティの活動に感謝していました。また、類似のケースについても継続的に支援して欲しいと伝言がありました。

アムネスティは、彼女の身辺が落ち着いたところに改めて連絡を取り、詳しい話を聞くことにしています。

今回、リナンさんを含め行政拘禁されていた3人の女性が釈放されましたが、同じように行政拘禁されている男性はひとりも釈放されませんでした。

この件に関しては新たなアクションは必要なくなりました。リナンさんのためにキャンペーンにご参加くださった皆さんのご尽力に感謝いたします。

## ロシアのバジリ・ゲオルギービッチ・アレクシニア ンさんが亡くなりました

2008年の緊急行動の対象者だったバジリ・ゲオルギービッチ・アレクシニアンさんが、エイズの合併症により10月3日、モスクワで死亡しました。

ロシアの石油会社ユコスの前副社長だったバジリさんは2006年4月6日に、脱税と横領の罪で拘留されました。バジリさんは、2006年10月にHIV感染症と診断されました。この診断は2008年1月、守秘義務に違反した形で検察によって公表されました。

2007年10月、審理前拘禁センターの医師を含む医療専門家がバジリさんを診察し、専門病院での緊急治療が必要だと診断し、審理前拘禁センターでは治療ができないので、公立病院に移すよう進言しました。

欧州人権裁判所は、2007年11月と12月に3度、バジリさんを専門病院に移すよう判決を出しましたが、ロシア当局はそれを無視し続けました。2008年2月にやっとバジリさんは病院に移送されましたが、当初、鎖でベッドにつながれており、訪ねてきた弁護士や親類にも会うことを許されませんでした。

2009年12月22日、「拘置所で適切な治療をしなかったこと、ロシアの裁判所が拘留延長に必要な根拠を示さなかったこと」から、欧州人権裁判所は、ロシアが欧州人権条約に違反していると判断しました。報道によれば、バジリさんの病状は拘置所で悪化し、肺炎や白内障、腎臓の腫瘍、リンパ節の感染や心臓疾患をわずらい、脾臓の摘出手術も受けていました。

バジリさんの有罪は一度も証明されていませんでしたが、2009年1月12日、モスクワ市の裁判所は保釈金として5000ルーブルを設定しました。その後この事件は時効が成立し、2010年に起訴が取り下げられました。

ロシア当局は、バジリさんから有罪にできる供述を引き出そうとして治療を拒否していた可能性があり、アムネスティは、引き続き調査を続けています。

## シリアのアル・ブンニさん親子が釈放されました

2011年8月6日に逮捕・監禁されたシリアの著名な活動家ワリッド・アル・ブンニさんと息子のムアヤッド・アル・ブンニさんが釈放され、拷問の危険から解放されました。

8月6日、ワリッドさんと息子のムアヤッドさん(18歳)、リヤドさん(19歳)の3人は、武装した男たちに拉致されました。拉致したのはシリアの治安部隊と考えられています。

リヤドさんはまもなく釈放されましたが、ワリッドさんとムアヤッドさんの消息は一切不明であったため、ひどい拷問や虐待を受けている恐れがありました。アムネスティは、ワリッドさんとムアヤッドさんがダマスカスの政治治安支部に拘束されているという情報を得ていました。

ムアヤッドさんは9月中旬に釈放され、ワリッドさんについては、刑事裁判所の取り調べを受けているという情報が9月27日に入りました。裁判官はワリッドさんをアドラ刑務所に移送するよう命令しましたが、10月12日、刑事裁判所は彼も釈放しました。

アムネスティの情報筋によると、ワリッドさんと息子たちは拘束された直後2日間暴行を受けましたが、その後は、それ以上の虐待は受けなかったということです。

### UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778  
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本